



おいしい米づくり情報

2024/06/03

第6号 分けつ促進・確保 編

庄内総合支庁 農業技術普及課

Tel. 0235-64-2103

1か月予報、3か月予報とも、今後**「気温は高い」**予報です。
これから1週間の**6月10日**まで、いかに分けつを発生させるかが**今年の稲作のポイント**です。
浅水管理と**ワキ対策の徹底**で適切に管理しましょう。

1. 5月31日の生育状況(普及課作柄診断圃)

品種 移植/直播	場所	年次	移植/播種	移植時		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	土壌中残存 アンモニア態窒素 (mg/100g)
				苗丈 (cm)	葉数 (枚)				
はえぬき 移植	鶴岡市矢馳	本年	5月15日	12.7	2.6	23.8	118	4.9	8.2
		平年	5月16日	11.0	3.0	23.4	142	5.2	8.3
		平年比	-1	116	-0.4	102	83	-0.3	-0.1
つや姫 移植	鶴岡市上清水	本年	5月12日	15.6	2.7	25.2	117	5.0	5.8
		平年	5月13日	12.4	2.4	28.2	127	5.1	6.1
		平年比	-1	126	+0.3	89	92	-0.1	-0.3
雪若丸 移植	鶴岡市長沼	本年	5月12日	10.4	2.6	19.9	121	5.1	5.1
		平年	5月13日	11.6	2.3	20.3	139	5.0	6.6*
		平年比	-1	90	+0.3	98	87	+0.1	-1.5
はえぬき 直播(鉄コ)	庄内町堀野	本年	4月27日	-	-	14.3	119	3.8	-
		平年	4月30日	-	-	15.5	117	3.6	-
		平年比	-3	-	-	92	102	+0.2	-

※平年:2019~2023年の5か年平均

*:「雪若丸」の土壌中残存アンモニア態窒素の平年は2020~2023年の4か年平均

- ①活着は概ね良好でしたが、一部圃場で5/16~17の強風による葉先の傷みや5/24以降の低温による生育の遅れなど、圃場により差が見られます。
- ②作柄診断圃の5月31日の生育は、平年に比べ草丈が並からやや短く、茎数は少なく、葉数は並からやや少なくなっています。
- ③土壌中の残存アンモニア態窒素は、平年並です。
- ④6葉の進展とともに3葉節からの分けつ(3号分けつ)が出てきて、いよいよ分けつ期です。それぞれの茎が分けつを出す準備をしています。また、分けつの発生とともに根も発生します。ワキや深水によりせっかくの分けつ・根の発生が抑えられてしまいます。浅水管理とワキ対策の徹底により、分けつ・根の発生を促しましょう。根にとっても重要な時期です。

1か月予報(5/30発表 6/1~30)

気 温:1週目は低く、2週目以降やや高い
降 水 量:少ない確率40%
日照時間:多い確率40%

3か月予報(5/22発表 6~8月)

6月:気温が高く、降水量は平年並み
7月:気温がやや高く、降水量はやや多い
8月:気温が高く、降水量はやや多い

2. 当面の対策

(1) 日中は浅水管理

日中は地温・水温を高めるために浅水管理（水深 2～3cm かつ止水）を徹底しましょう。灌水は夜間か早朝に行い、日較差をつけましょう。日較差が大きいと分けつは発生しやすくなります。下表のように最高気

表 水田の水深と水温		(当課調査)	
水深	水温(°C)	日照	
		有(8hr/d)	無(0hr/d)
水深 浅 (0.9～2.3cm)	最高	27.8	19.1
	最低	13.0	16.0
	日較差	14.8	3.1
水深 深 (7.4～8.7cm)	最高	22.2	19.2
	最低	12.7	16.8
	日較差	9.5	2.4

温がほぼ同じでも、水深が浅いと日照がある場合、水温が上がりやすく、日照が無い場合でも水温が下がりやすくなり、いずれにしても日較差が大きくなります。

降雨による意図しない深水とならないように、水尻の排水板の高さなど確認しましょう。



図 除草剤散布後の水管理

(2) ワキ対策: 早めの水交換または田干し

気温の上昇に伴いワキは必ず発生します。特に昨年は“ひこばえ”が多かったことから、例年以上にワキ易い状態にあります。ワキをできるだけ抑制するために、積極的な水交換が必要です。一発除草剤を効かせるためには、散布後7日間の“止め水”が必要ですが、この間にもワキが進みます。止め水終了後は直ちに水交換をしましょう。

(3) 病害虫対策も忘れずに

補植苗はいもち病の発生源になります。残っているところは今すぐ撤去しましょう。斑点米カメムシ類の発生が早くなっています。農道・畦畔は斑点米カメムシ類の繁殖源となるので、除草を面的・継続的に行いましょう。

「はえぬき」の品質向上に向けて!!

平成3年にデビューし、平成7年には作付け面積が「ササニシキ」を抜き1位となり、今年でデビュー以来34作目、現在6割以上に作付けされている本県の主力品種です。初心に戻り、適正な水管理により目標莖数を確保しましょう。

6月10日の目標生育 14.2本/株(70株/坪植え)、16.5本/株(60株/坪植え)
6月5日頃に分けつが出始めているか確認しましょう。まだ出ていなかったら、水交換(ワキ対策)、浅水管理をしましょう。品質向上のためにも莖数を増やすのは今です!!

熱中症と農作業事故に気をつけましょう
定期的に水分と休憩を取りましょう!!

